

IOWN を活用した「ふれあう伝話」の設置を決定

日本電信電話株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:島田 明、以下「NTT」)、2025 年大阪・関西万博 日本館事務局(以下「日本館」)、および 2025 年大阪・関西万博シグニチャーパビリオン いのち動的平衡館(以下「いのち動的平衡館」)は、2025 年日本国際博覧会(以下、「大阪・関西万博」)において、IOWN[※]を活用した「ふれあう伝話」を設置することを決定いたしました。

※IOWN とは

IOWN(Innovative Optical and Wireless Network)構想とは、あらゆる情報を基に個と全体との最適化を図り、多様性を受容できる豊かな社会を創るため、光を中心とした革新的技術を活用し、これまでのインフラの限界を超えた高速大容量通信ならびに膨大な計算リソース等を提供可能な、端末を含むネットワーク・情報処理基盤の構想です。オールフォトニクス・ネットワーク(APN: All-Photonics Network)はその構成要素の一つです。

[IOWN | NTT R&D Website](#)

【概要】

NTT グループはこれまで 100 年以上のあいだ、離れた場所に音や映像を伝え、距離を超えて世界中の人々が“つながる”ことを支えてきました。また、東京で最初の公衆電話が登場してから、125 年を迎え、公共の場においても音声を通じたコミュニケーションを支えてきました。

2025 年大阪・関西万博では、音や映像に加え、触覚・振動を送り合うことができる「ふれあう伝話」を設置し、離れた人の存在を感じられるような体験を提供します。「ふれあう伝話」では公共の場で生まれる偶然の出会いや、初めて会う人とでもふれあうコミュニケーションが気軽にできてしまう、そんな新しいコミュニケーションのあり方をめざします。「電話から伝話へ」。まるでそばにいるような感覚、そんな「お互いの存在を感じられる世界」を創造します。

<https://group.ntt.jp/expo2025/fd/>



【具体的取り組み①】 <「ハイタッチでつなぐ」ふれあう伝話> 日本館⇄関西国際空港

昨年 12 月に提供を開始した「All-Photonics Connect powered by IOWN[※]」を活用し、日本館と関西国際空港万博特設ブースを接続し、それぞれの場所に「ふれあう伝話」を設置します。

関西空港に降り立つ海外からの来訪者等と日本館の来場者が、「ふれあう伝話」を通じ世界各国の言葉で挨拶し、映像が映るモニタの両脇にある丸い手のマークのところをハイタッチをすることで、初めて会った人どうしの「つながる」コミュニケーションを創造します。海外からの来訪者は、ふれあう伝話を通じ初めて会う日本館来場者と出会い、ふれあうことで、万博会場についてみたい気持ちを想起し、また、日本館来場者はふれあう伝話を通じ海外からの来訪者と出会うことで、万博会場へ訪れる外国人とのコミュニケーションを取ってみたい気持ちを想起させます。

※All-Photonics Connect powered by IOWN とは

2024 年 12 月 1 日より東日本電信電話株式会社(以下、NTT 東日本)および西日本電信電話株式会社(以下、NTT 西日本)が順次提供を開始する、APN の技術を用いて高速・大容量・低遅延の通信を可能とするサービスです。(「All-Photonics Connect」は商標出願中)

本サービスの詳細については各社サービスホームページをご覧ください。

NTT 東日本 <https://business.ntt-east.co.jp/content/iown/>

NTT 西日本 <https://www.ntt-west.co.jp/business/solution/iown/>

日本館



関西国際空港



「ハイタッチでつなぐ」ふれあう伝話 イメージ

【具体的取り組み②】 <「いのち」ふれあう伝話> NTT パビリオン⇄「いのち動的平衡館」

一昨年 7 月に 2025 年大阪・関西万博の夢洲会場への提供を発表した、オールフォトニクス・ネットワーク(以下 APN)を活用し、NTT パビリオンと「いのち動的平衡館」を接続し、それぞれの場所に「ふれあう伝話」を設置します。

NTT パビリオンといのち動的平衡館に訪れた来場者どうしが、映像が映るモニタ前に置かれたテーブルにふれることで、それぞれのふれる感覚を伝え合うことができます。さらに、NTT パビリオンには、聴診器型のデバイスから、自分の鼓動を一緒に送ることができます。「いのち」の流れやその利他的なつながり、すなわち「動的平衡」を感じられる体験を創造します。

いのち動的平衡館



「いのち」ふれあう伝話イメージ

NTT Pavilion



■ 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
日本電信電話株式会社
広報部門
ntt-pr@ntt.com

■ 本件に関するお客さまからのお問い合わせ先
日本電信電話株式会社
研究開発マーケティング本部
ntt_expo2025@ntt.com